

農地・水・環境保全組織いなばエコフィールド協議会



田んぼダムの啓発

本地区では、近年、豪雨時に発生する排水路の洗堀や法面崩壊など排水対策に苦慮していた。

このため、排水路と法面の補強を行うとともに、平成 23 年度から多面的機能支払を活用し、田んぼダムに取組み、水田の排水口に水位調整板を設置して水田の貯留機能向上を図ることで、大雨時にダム的な貯留効果が発揮している。現在、地域内 16 集落のうち、9 集落で実施しており、さらに 4 集落で実施する計画である（令和 2 年時点）。



つるおか
山形県鶴岡市



作業状況（水尻柵設置）

〔洪水防止・生物多様性保全〕

田んぼダムの取組は農家にとって転作田の洪水被害の軽減だけでなく、一般住民の住宅地を含めた地域全体の洪水被害の軽減が期待できる。この重要性と地域への効果について農家だけでなく、一般住民の意識改革を図ってきたことで、地域全体の理解が深まり、農家組織と各集落の消防団等が連携して自主防災組織が結成されるなど、新たな防災体制が整備されるきっかけとなっている。

また現在では冬期間に水田を湛水調整し、冬水田んぼとすることで、鳥類等のえさ場として生息環境を整えている。



水位調整板

〔体験学習と教育〕

調整池での親水イベント、田植え体験、田んぼや親水施設での生き物調査、森の恵み探検隊（田んぼの水源地・林業体験）、農村食文化体験等の活動を通じて、農業・農村の多面的機能について啓発している。



冬期湛水状況
（白鳥飛来）



田植え体験



親水施設での生き物調査
（大堰ポケットパーク）